

## 1 産業革命とその影響

- (1) 18世紀後半のイギリスで、機械による生産が始まり、( **産業革命** )が起きた。
- (2) 産業革命は、( **綿工業** )から始まり、他の分野に広がっていった。
- (3) 産業革命の結果、資本家が労働者を雇う( **資本主義** )という仕組みが生まれた。
- (4) 資本家と労働者の貧富の差を批判する、( **社会主義** )の考えが生まれた。
- (5) イギリスやフランスは、原料や市場を求めて、( **植民地** )の獲得競争を始めた。

## 2 19世紀の欧米諸国とアジア

- (6) プロシアの宰相・( **ビスマルク** )は、小国に分かれていたドイツを統一した。
- (7) アメリカでは、黒人奴隷の解放をめぐる内戦となり、( **南北戦争** )が起きた。
- (8) イギリスはインドを綿製品の市場とし、( **シパーヒーの反乱** )を鎮圧して植民地化した。
- (9) 中国(清)はイギリスに( **アヘン戦争** )で敗れ、半ば植民地状態に置かれた。
- (10) 皇帝の専制政治が続くロシアは、( **農奴解放令** )を出して近代化を志した。

### <ワンポイント解説>

- ... イギリスはいち早く市民革命が行われ、産業の自由な発展が図られていた。
- ... カートライトが、ワットの改良した蒸気機関を利用して、力織機を発明した。
- ... 大きな資本を持った人物でなければ、生産に必要な機械をそろえられなかった。
- ... 賃金をもらう労働者は、悪い条件でも働かざるを得ず、弱い立場に置かれていた。
- ... インドや東南アジア、アフリカなどが植民地にされた。
- ... プロシアは、元は現在のドイツの北東にある小国だった。
- ... 北部を率いるリンカン大統領は奴隷解放令を出し、内戦に勝利した。
- ... イギリスはインドのフランス勢力を破り、東インド会社を通じて支配していた。
- ... イギリスはアヘンを密輸出したため、清は銀の大量流出に悩まされていた。
- ... 皇帝アレクサンドル2世は、英仏にクリミア戦争で敗れ、近代化を目指していた。



### 【アプリ版のご紹介】中高生の日本史

壬申の乱、壇ノ浦の戦い、六波羅探題、建武の新政、元禄文化、桜田門外の変、、。日本史を学ぶ上で絶対に抑えておきたい重要事項を、時代の流れに沿って収録。はじめから順に解いていくことで、日本史の大きな流れを記憶することができます。



### 【他アプリからオマケの一題】

#### 中高生の公民

本会議を開くために必要な議員数は、総議員の何分の何以上？  
(A) 4分の1 (B) 3分の1 (C) 2分の1 (D) 3分の2